

令和元年度ウェルネスバレー推進事業 事業報告書

1. 組織構成

協議会の構成団体

- ・ 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
- ・ あいち健康の森健康科学総合センター
- ・ あいち小児保健医療総合センター
- ・ 大府商工会議所
- ・ 東浦町商工会
- ・ 株式会社げんきの郷
- ・ 社会福祉法人仁至会
- ・ あいち健康の森公園管理事務所
- ・ 大府市
- ・ 東浦町
- ・ 至学館大学

2. 会議運営

(1) ウェルネスバレー推進協議会

<構成団体等>

(敬称略)

会長	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長 荒井 秀典
副会長	あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下 一代
委員 (団体・機関)	あいち小児保健医療総合センター センター長 服部 義 大府商工会議所 会頭 木村 勝昭 東浦町商工会 会長 成田 盛雄 株式会社げんきの郷 取締役社長 青木 幹男 社会福祉法人仁至会 理事長 祖父江 逸郎 あいち健康の森公園管理事務所 所長 大瀧 邦裕 至学館大学 健康科学部・健康スポーツ科学科 学部長・教授 飯本 雄二 大府市長 岡村 秀人 東浦町長 神谷 明彦
オブザーバー (団体・機関)	中部経済産業局地域経済部次世代産業課ヘルスケア産業室 愛知県経済産業局産業部産業振興課次世代産業室 愛知県保健医療局健康医務部健康対策課
事務局	大府市／東浦町

<会議開催状況>

	開催日	議案
第1回	令和元年 10月2日(水)	(1)ヘルスケア産業の創出支援について ①ウェルネスバレー医福工連携シンポジウム ②医療・福祉分野のニーズとアイデアボックスの仕組みづくり (2)交流・にぎわいワーキンググループの活動について (3)運営委員会にて意見交換したテーマ ①ウェルネスバレーにおけるヘルスケア産業創出に向けた支援体制 ②ウェルネスバレーニューツーリズムの検討

(2) 運営委員会

<構成団体等>

(敬称略)

委員長	大府市健康都市推進局 局長 吉兼 智人
副委員長	東浦町企画政策部 部長 早川 信之
委員 (団体・機関)	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 小森 雅一 あいち健康の森健康科学総合センター 和田 正樹 あいち小児保健医療総合センター 中島 英司 大府商工会議所 間瀬 計行 東浦町商工会 深津 幸雄 株式会社げんきの郷 石橋 勝彦 社会福祉法人仁至会 介護老人保健施設ルミナス大府 阿知波 修 あいち健康の森公園管理事務所 水野 綱人 至学館大学 井上 啓子
事務局	大府市／東浦町

<会議開催状況>

	開催日	議案
第1回	令和元年 5月22日(水)	(1)平成30年度事業報告・収支決算について (2)令和元年度事業計画・収支予算について (3)意見交換 ①ウェルネスバレーにおける「クラスター」のイメージの共有について ②ウェルネスバレー推進協議会の費用負担の考え方について ※終了後、第8回ウェルネスバレーブランド認定審査会を開催
第2回	令和元年 9月27日(金)	(1)ウェルネスバレー医福工連携シンポジウムの報告 (2)医療・福祉分野のニーズとアイデアボックスの仕組みづくりについて (3)ウェルネスバレー推進協議会の議題について (4)意見交換 ①ウェルネスバレーにおけるヘルスケア産業創出に向けた支援体制 ②ウェルネスバレーニューツーリズムの検討

第3回	令和元年 12月18日(水)	(1)ヘルスケア産業の創出支援の進捗について (2)産業支援機関等とのネットワーク構築、ブランド認定制度のPR活動 (3)コーディネート事業の新たな展開 (4)交流・にぎわいづくりの事業展開の進捗 (5)令和2年度事業計画(案)・予算(案)について (6)意見交換 ・健康交流ゾーンの利活用について
—	令和2年 3月26日(木) 中止	新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止 ※第9回ウェルネスバレーブランド認定審査会については、書面での審査を行い、5件の更新案件を承認

(3) 交流・にぎわいワーキンググループ

<構成団体等>

(敬称略)

座長	至学館大学 健康科学部 教授 時安 和行
委員 (団体・機関)	株式会社げんきの郷 株式会社トヨタエンタプライズ あいち健康の森公園管理事務所 社会福祉法人愛知県厚生事業団 愛厚ホーム大府苑 さわやかなの丘 協同組合健康木の住まいウッド・ビレッジ 社会福祉法人 憩の郷 大府商工会議所 東浦町商工会 大府市産業振興部商工労政課 あいち健康の森薬草園 フラワーサーチ大府 認知症介護研究・研修大府センター 国立長寿医療研究センター
オブザーバー	ひとまちおうえん隊 医療法人寿康会 大府病院 (5月から)
事務局	大府市/東浦町

<会議開催状況>

	開催日	議案
第1回	令和元年 5月28日(火)	(1)平成30年度事業・収支決算報告について (2)令和元年度事業計画・収支予算について (3)第14回ウェルネスバレーめぐりの実績報告について (4)第2回ウェルネスバレーイベントめぐりについて

第2回	令和元年 8月22日(木)	(1)委員の追加について (2)第14回ウェルネスバレーめぐりについて (3)第2回ウェルネスバレーイベントめぐりについて
第3回	令和元年 12月26日(木)	(1)第2回ウェルネスバレーイベントめぐりの実績報告について (2)第15回ウェルネスバレーめぐり (3)健康交流ゾーンの利活用について
—	令和2年 3月25日(水) <u>中止</u>	新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止

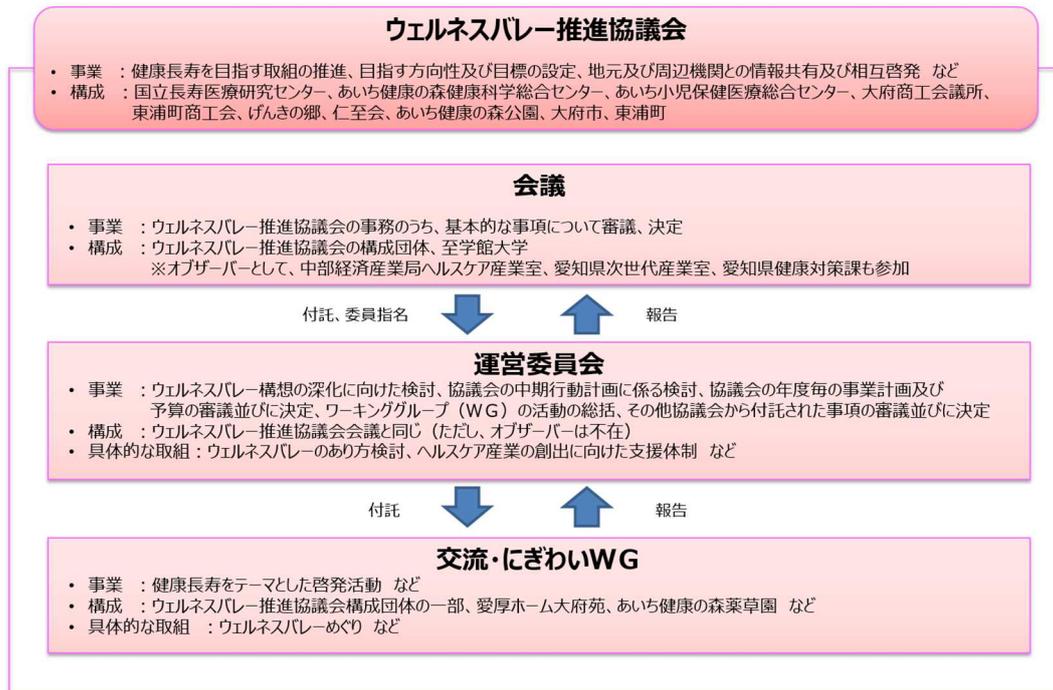
3. 取り組み事業

(1) 協議会の運営

①会議運営

- ・ ウェルネスバレー推進協議会の「会議」を1回開催し、ヘルスケア産業の創出支援等、個々の事業の取組状況を共有した。
- ・ 運営委員会を3回開催し、事業計画等の審議、決定、事業の進捗管理を行った。
- ・ 交流・にぎわいWGを3回開催し、ウェルネスバレーめぐり、ウェルネスバレーイベントめぐりを開催した。

ウェルネスバレー推進協議会 運営体制



②情報発信

- ・ 広報おおぶ「ウェルネスバレー通信」にてイベント情報を掲載 (毎月15日号)
- ・ 各事業の成果を対外的に広くPRするため、プレスリリース等を実施

(2) コーディネート事業

ウェルネスバレー関係機関と連携したヘルスケア産業の創出に向けた共同研究・開発や実証事業の展開等に関する事業者からの相談や、ウェルネスバレー地区への立地に関する相談等に対応する「ワンストップ相談窓口」を運営した。また、市内外から人と企業と情報を呼び込む仕組みづくりの一環として、中部経済産業局の会議等にて取組を紹介するとともに、Helthcare Innovation Hubに加入した。

① コーディネート実績

- ・ウェルネスバレー機関とのマッチング、意見交換 15 件

② 経済産業省等の会議にて取組紹介

- ・地域版次世代ヘルスケア産業協議会アライアンス会合に出席 (10/28)
- ・岐阜県各務原市の競争力強化に向けた IoT+施策解説セミナーにて取組紹介 (2/12)
- ・中部地域 地域版協議会ネットワーク会議にて取組紹介 (2/19)

③認知症官民連携プラットフォームプロジェクトに継続して登録

④Helthcare Innovation Hub に新規で登録

(3) ヘルスケア産業の創出支援

①医福工連携シンポジウム

- ・日時 令和元年 7 月 12 日 (金) 13:00~16:45
- ・会場 国立長寿医療研究センター 教育研修棟 大研修室
- ・参加者 98 名
- ・事業内容

基調講演 I

テーマ「経済産業省におけるヘルスケア・医療機器等産業政策と当地域の取組について」
中部経済産業局地域経済部 部長 閑念磨聡 氏

基調講演 II

テーマ『「ファルマバレーの挑戦」～医工連携の仕組みづくり～』
公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構
ファルマバレーセンター事業推進部 部長 稲葉大典 氏

パネルディスカッション

テーマ「医福工連携マッチングの成果と課題」
ファシリテーター コーディネータ 安部 彰氏
パネリスト (株)愛知商会・(株)アベックス・(株)シンテックホズミ
コメンテーター ファルマバレーセンター事業推進部 部長 稲葉大典 氏

ウェルネスバレーの取組紹介

テーマ「ウェルネスバレー版アイデアボックスの仕組みづくり
～ウェルネスバレーにおける大府市・東浦町の支援体制」
大府市企画政策部健康都市推進局ウェルネスバレー推進課

②アイデアボックスの仕組みづくり

- (i) 平成 29・30 年度に開催した医療・福祉分野における現場ニーズ発表会にて発信した現場ニーズを整理し、ホームページにて発信 (令和元年 12 月)
- ・発信件数 医療関係 16 件、福祉関係 7 件、合計 23 件



パネルディスカッション

(ii) アイデア提案箱の設置により現場ニーズの収集し、ヒアリングを行ったうえで、ホームページにて発信（令和2年3月）

- ・アイデア提案箱の設置場所 医療機関1箇所、福祉施設6箇所

<内訳>

国立長寿医療研究センター内6箇所

ルミナス大府、愛厚ホーム大府苑、さわやかなの丘、フラワーサーチ大府、メドック東浦、相生 各1箇所

- ・提案件数 61件
- ・発信件数 医療関係 10件、福祉関係 16件、合計 26件

③ウェルネスバレーブランド認定制度の運用

ウェルネスバレー構想を広く発信することと、ウェルネスバレー関係機関が開発等に関与した商品・サービスの販売促進のため、ブランド認定制度を運用した。イベントでの展示や広報による特集記事掲載、チラシ作成等により、積極的に制度のPRを行った。

- ・認定審査会開催回数 2回
- ・認定申請案件 2件（うち、2件認定）、更新申請案件 5件
- ・イベント等でのブース出展によるPR 8回
- ・ウェルネスバレーブランド紹介用パンフレットの作成
令和2年度3月までに認定された商品により作成
- ・大府市役所1階ロビーにて、ウェルネスバレーブランド認定商品を常設展示



ブランドロゴマーク

認定審査会	第8回 (令和元年5月22日)	
認定日	令和元年5月27日	
事業者	(株)げんきの郷	(株)メイク
認定案件	ウェルネスバレー弁当シリーズ からだいたわり弁当 ～ウェルネスバレー地中海弁当～	リアルタイム見守りセンサー "M-station(エム・ステーション)"
商品 イメージ		

世界初のとろみ自動調理機



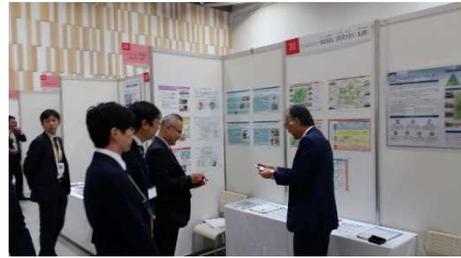
④出展

県内外の展示会へ出展し、アイデアボックス活動やウェルネスバレーブランドなどの取組を紹介しました。

- ・メディカルメッセへ出展（4/27～4/29） 場所 名古屋国際会議場
- ・富士山麓産学官金連携フォーラム 2019 へ出展 場所 プラザヴェルデ
- ・中部地域ヘルスケア産業創出・活用セミナーへ出展（2/19） 場所 名古屋国際センター



メディカルメッセ出展



富士山麓産学官金
連携フォーラム 2019 出展

（4）土地利用の促進

①健康産業ゾーンの土地利用・都市計画道路の整備の具現化に向けて

大府市、東浦町との共同により平成 30 年度に実施した「ウェルネスバレー地区内の土地利用の意向調査」の結果を参考とし、健康産業ゾーンにて優先的に企業誘致を進めていく区域の検討や都市計画道路養父森岡線の予備設計を行った。

②健康交流ゾーンの利活用

優良農地の保全とともに、6 次産業化の推進、ツーリズム事業や農福連携等についての実現可能性について検討した。

- ・運営ワーキンググループの開催（1 回）
- ・サウンディング型市場調査の実施 ウェルネスバレー関係機関、民間企業

（5）交流・にぎわいの創出

①「第 14 回ウェルネスバレーめぐり」の開催

- ・交流・にぎわい WG 主催により春に実施した。平成 30 年度より春のみの開催。

4/27～5/26、協賛 20 社(団体)、参加者延べ 1,010 名（実人員 228 名）

②「第 2 回ウェルネスバレーイベントめぐり」の開催

- ・交流・にぎわい WG 主催により、平成 30 年度秋に新規で開催。

9/4～11/28、対象イベント数 35 個、参加者 約 3,000 名、アンケート集計数 680 名)

③イベントへのブース出展・展示

- ・健康の日イベント（6 月 16 日）、あいち県民健康祭（9 月 14 日～15 日）、大府市福祉・健康フェア（9 月 22 日）などに出展した。



WVめぐりチラシ



WV イベントめぐりチラシ



あいち県民健康祭
ブース展示

令和元年度収支決算書

歳入の部

項目	予算額	決算額	増減	摘要
前年度繰越金	0	0	0	
大府市WV協議会交付金	590,000	590,000	0	
東浦町WV協議会交付金	295,000	295,000	0	
補助金等	0	0	0	
寄付金・協賛金	0	0	0	
事業収入	0	0	0	
その他収入	4	5	1	受取利息
歳入計	885,004	①885,005	1	

歳出の部

項目	予算額	決算額	増減	摘要
事業費				
(1)協議会の運営	40,000	2,268		会場費(運営委員会1回) 2,268円
(2)コーディネイト事業	0	10,330		コーディネーター費用 10,330円
(3)新たな産業の創出支援	300,000	173,216		WVブランド資料送付代 720円 記者会見用食料費(弁当、おおぶの原水) 6,424円 シンポジウム費用(お茶・お菓子・講師弁当代) 8,342円 富士山麓産学官金連携フォーラム出展費用(有料道路通行料、駐車場代) 10,960円 メディカルメッセ出展料 80,550円 WVブランドPRパンフ制作費 66,000円 WVブランド認定証(用紙購入) 220円
(4)交流・にぎわいづくり事業	400,000	504,453		第2回WVイベントめぐり チラシ・ポスター代 132,224円 WVイベントめぐり景品代 14,324円 WVイベントめぐり景品郵送料 1,850円 第15回WVめぐり チラシ・ポスター代(デザイン費等) 99,000円 WVめぐり のぼり代 15,365円 第15回WVめぐり 協賛品返送料 690円 第15回WVめぐり 景品代(WVタオル) 127,050円 愛ちた！ナビアプリへの掲載料 109,550円 WVロード看板用QRコードシール作製費 4,400円
(5)土地利用	0	0		
(6)その他	145,004	0		
歳出計	885,004	② 690,267	△ 194,737	

収支差額(歳入計①-歳出計②)	194,738
市、町一般会計に戻入	194,738

監査報告書

令和元年度収支決算書について審査した結果、
諸帳簿並びに関係書類の一切が適切に処理されていたことを認めます。

令和 2 年 4 月 16 日
監事 大府商工会議所事務局長

間瀬 計行 

【参考】大府市・東浦町におけるWV推進協議会交付金以外のウェルネスバレー推進事業関連

項目	予算額	決算見込額	増減	摘要
大府市WV関係事業費				
WV協議会交付金(再掲)	590,000	460,175	△ 129,825	
WV構想推進関連業務委託費	2,826,000	2,588,353	△ 237,647	地方創生推進交付金を充当(1/2) WV地区内でのシンポジウムの実施、アイデアボックスの仕組みづくり
土地利用計画検討業務委託費	3,344,000	3,190,000	△ 154,000	
WVまちづくり委員会交付金	80,000	80,000	0	
有料道路使用料	9,000	7,880	△ 1,120	
職員旅費	49,720	44,356	△ 5,364	
(合計)	6,898,720	6,370,764	△ 527,956	
東浦町WV関係事業費				
WV協議会交付金(再掲)	295,000	230,087	△ 64,913	
WV構想推進関連業務委託費	1,099,000	1,006,581	△ 92,419	地方創生推進交付金を充当(1/2)
職員旅費	47,360	1,140	△ 46,220	
(合計)	1,441,360	1,237,808	△ 203,552	
大府・東浦 合計	8,340,080	7,608,572	△ 731,508	